

令和6年10月30日

報道機関各位

長岡市教育部長

学校給食の異物混入事案の発生について

本日、市内中学校1校の給食で提供したうま煮井の中に、調理検温に使用する温度計内のボタン型電池1個（直径1cm、水銀不使用）が混入する事故が発生しました。

混入の発見後、ただちに全校生徒の喫食を停止し、うま煮井以外のおかずのみの給食に変更したため、混入した電池を生徒が口にすることはありませんでした。

関係生徒および保護者にお詫びいたしますとともに、今後このような事態が起こらないよう、給食事業者へ調理機器の確認の徹底などを指導し、再発防止に取り組んでまいります。

1 発生日時 10月30日（水）午後0時45分頃

2 概要

市内中学校1校の給食で提供したうま煮井の中から、調理検温に使用する温度計内のボタン型電池1個（直径1cm、水銀不使用）の混入を発見したため、ただちに全校生徒の喫食を停止し、うま煮井以外のおかずのみの給食に変更しました。

3 原因とその後の対応

- ・電池混入の原因は、うま煮が適切な温度で調理できているか検温する温度計（電池1個入り）の電池蓋の一部破損によるゆるみで電池が脱落して混入したものです。
- ・事故発生と同時に、ボタン型電池の給食混入による身体への影響について学校医や専門機関に確認したところ、健康上の問題を現時点では過度に心配することはないとの回答をいただきましたが、今後、体調に不調が出た場合はすぐに医療機関を受診するよう学校を通じて保護者に連絡しました。
- ・市内全域の小中学校で使用している調理検温用の温度計の確認を行います。

（ 問い合わせ：学務課課長 大竹
TEL 0258-39-2239 ）